

# 研修会カリキュラムの例

栄養サポートネットワーク合同会社

## 新採用管理栄養士研修会（企業様） \*1 コマ 2 時間半 対象人数 2 名

No.	区分	研修内容
1	午前	オリエンテーション 基礎研修1 地域保健における管理栄養士の責務 管理栄養士における法律上の業務範囲 栄養士の職業倫理規定
	午後	特定保健指導① 対象者の食事 魅力的な資料作り 試作 写真撮影 レシピ作成のための準備
2	午前	特定保健指導① 栄養サポートネットワークにおける特定保健事業について (概要 相談の流れ)
	午後	特定保健事業の標準的なプログラムの理解 階層化 行動科学に基づくアプローチ
3	午前	介護保険事業について 事業目的 基本方針 栄養介入方法 高齢者についての理解 介護保険対象者の実際
	午後	特定保健事業 介護予防事業 試食実習メニューの作成 資料作り
4	午前	特定保健事業 介護予防事業 試食実習メニューの作成 資料作り
	午後	効果的な介護予防プログラムの作り方
5	午前	SILEプログラムについて ①
	午後	SILEプログラムについて ②
6	午前	SILEプログラムについて ③
	午後	SILEプログラムについて ④
7	午前	SILEプログラムについて ⑤
	午後	SILEプログラムについて ⑥
8	午前	人間栄養学に基づく栄養サポート 栄養サポートネットワーク連携栄養士とコミュニケーション
	午後	疾病を持つ患者に対する栄養相談の実際①
9	午前	疾病を持つ患者に対する栄養相談の実際②
	午前	疾病を持つ患者に対する栄養相談の実際③
10	午後	疾病を持つ患者に対する栄養相談の実際④
	午後	特定保健事業 アセスメント 介入計画
11	午前	特定保健事業 アセスメント 介入計画 対象者に適した食事の資料作成
	午後	NSN管理栄養士 研修出席 事例検討参加
12	午前	特定保健事業 アセスメント 介入計画 対象者に適した食事の資料作成
	午後	特定保健事業(保健指導)実施企画 立案手順
13	午前	特定保健事業(保健指導)実施企画 立案演習
	午後	特定保健事業(保健指導)実施企画 立案演習
14	午前	保健指導事業計画プレゼンテーション(助言者 弊社 企画部長)
	午後	保健指導個別指導 理解度テスト①
15	午前	介護予防事業見学(集団指導の実際)
	午後	対象者に即した栄養管理 スポーツと栄養管理 スポーツと栄養管理 アセスメント 栄養計画他
16	午前	保健指導の実際 実地訓練
	午後	保健指導の実際 振り返り
17	午前	介護予防事業(調理実習 講義) 当日準備・参加
	午後	介護予防事業(調理実習 講義) 実際に実施した振り返り
18	午前	保健指導 理解度テスト
	午後	まとめ

企業の管理栄養士として、新卒であっても事業の立案・企画から事業展開、実施評価もできるようになり、社内で管理栄養士が益々の期待をされるようになりました。

新採用管理栄養士研修会（歯科医院様） \*1 コマ 3 時間 対象人数 3 名

	ライフスタイル改善の基礎スキルの習得 (介入の成果を確実に出すための基礎と演習)	歯科医院での外来栄養相談システムの構築 (実務と連動した検討と演習)
第1回	ライフスタイル改善に必要な基本知識 ・管理栄養士の職業倫理と責務 ・「人間栄養」に基づく栄養介入（考え方と手順） ・食事摂取基準と推定エネルギー必要量の算出	「スクリーニング」 栄養介入の対象者の選定 ・対象者像を考えてみよう ・対象者に対して必要な栄養介入を考えてみよう ・スクリーニング項目を選定しよう ・スクリーニングのフローチャートを作成しよう
第2回	概論 ライフスタイル改善プログラム『SILE』 ・SILEプログラムのエビデンスと成果を出すポイント (NCMに基づく手順と要点)	「スクリーニング」から「栄養介入」への導入 ・院内で連携する職種を考慮し、手順を考えよう ・導入フローチャートを作成しよう
第3回	各論 「アセスメント」 ・アセスメント；適正基準の考え方 ・優先すべき問題点の抽出 <hr/> 演習 短時間でできる食事アセスメント	「アセスメント」項目の選定 ・アセスメント項目と適正基準を選定しよう (各アセスメント項目の選択肢も確定しよう)  * アセスメントと評価は同一項目を用いるため、 「アセスメント・記録票」を作成する
第4回	各論 「行動目標」と「モニタリング」、「評価」 ・行動目標の設定と実施率の高め方 ・行動目標のモニタリング、評価	「アセスメント」項目の適否の検討 ・アセスメント項目が妥当だったか確認しよう ・アセスメント項目の選択肢を再度、精査しよう
第5回	各論 疾病とコントロール目標の考え方 ・糖尿病、高血圧、脂質異常症の診療ガイドライン ・疾病のコントロールポイント ・低栄養改善の目標の考え方	「問題点の抽出」「目標設定」の実施可否の検討 ・実務内でアセスメントを行った患者に対して これらを実施したタイミングが妥当か確認しよう
第6回	事例検討 1 ・院内で取り扱った事例を2事例、検討する (低栄養、糖尿病、高血圧、高脂血症等)	「モニタリング」「評価」の実施可否の検討 ・これらを実施したタイミングが妥当か確認しよう 特に「評価」の初回介入からの時期を検討しよう
第7回	事例検討 2 ・院内で取り扱った事例を1事例、検討する (低栄養、糖尿病、高血圧、高脂血症等) ・研修の振り返り（何を得てどんな成長ができたか）	外来栄養相談システムの確定と今後の課題抽出 ・システムの流れを確認し、課題は無いか検討する

歯科医院内で、管理栄養士が行う栄養指導のシステムを構築することを新人研修会で並行して実施しました。

その結果、スクリーニングから対象者の選定、栄養指導に関するアセスメント、問題点の抽出、行動目標の設定、モニタリング、評価の一連のシステムができ上がり、院内において他職種共同で稼働させることができました。

歯科医院での継続的栄養相談は自費サービスですが、希望者が多数おり、管理栄養士は患者様および組織・地域への貢献が大いに図られています。

管理栄養士スキルアップ研修会:基礎編（調剤薬局会社様）\*1 コマ 2 時間半 対象人数 30 数名

回	内容	備考
1	食事摂取と栄養管理	栄養相談に必要な基本知識を知る。（食事摂取基準、血液検査値の見方等）
2	各疾病のガイドラインのポイント	疾病の介入方針を知る。
3	プログラムに基づく栄養相談①	栄養相談の手順とポイントについて学び、栄養相談のスキルを身につける。
4	プログラムに基づく栄養相談②	問題点の抽出方法と行動目標の設定方法について学び、栄養相談のスキルを身につける。
5	プログラムに基づく栄養相談③	行動目標・計画の評価方法について学び、栄養相談のスキルを身につける。
6	事例検討（2事例）	プログラムに基づく栄養相談①～③の実践により栄養相談に必要な知識とスキルを習得する。

その後、応用編として、事例検討会に特化し、1 コマ 2 時間半で 3 事例の検討を行う研修会も開催しました。

これまでこの薬局様は地域の診療所から依頼され、患者様に対して栄養指導を行っていましたが、令和 2 年の診療報酬改定で「外来栄養食事指導 2」が新設され、薬局も『認定栄養ケアステーション』に登録すれば、病院・診療所からの依頼で外来栄養食事指導ができる可能性が広がりました。

この研修を通じて、研修前よりも”成果の出る栄養指導“が増え、診療所の医師達からの信頼も厚く、依頼する診療所も広がっているとのことでした。

グループ栄養士研修会（ネットワークグループ薬局様） \*1回目3時間、2回目以降2時間半  
対象人数 30名

回	内容	詳細
1	講義	ライフスタイル改善プログラム『SILE』の概要と活用
	演習	10分でできるアセスメントと効果的な目標設定
2	講義	継続的栄養相談体制の 構築－手順と他職種連携
	症例検討（1事例）	減量を要する症例
3	講義	成果を出す：優先的な問題点の抽出と行動目標の実行率の高め方
	症例検討（1事例）	糖尿病の症例（高齢者）
4	講義	成果を見せる：行動目標のモニタリングと評価
	症例検討（1事例）	メタボリックシンドロームの症例（勤労者）
5	症例検討	グループ内からの提供事例
	（2事例）	脂質異常症の症例・高血圧の症例
6	症例検討	グループ内からの提供事例
	（2事例）	糖尿病歴が長い症例・CKDの症例

近年、薬局での栄養相談が増加し、患者様のために管理栄養士が関わった成果を上げて行きたいという意向で研修を行いました。グループ薬局は全国に渡っていますが、第1回目は集合研修、第2回目以降はオンラインで各会場をつないで研修を実施しました。

研修前後のアンケートでは、食事のアセスメント時間を大幅に短縮できるようになった、疾病の重症化予防に効果的な目標設定について自信を持って設定できるようになったと実感する管理栄養士の割合が増えました。何よりも、自分の仕事にこれまで以上の誇りを持てるようになったという声が多く聞かれました。